

AS-Schneiderの寒冷地仕様バルブ：

## 零下55°Cまで保証される確かな能力

アラスカやカナダ、ノルウェー、ロシア等での化学プラントやオイル、ガス等の工業施設用には極寒に耐えられる工業バルブが必要となります。全てのバルブボディ、素材、潤滑油がその様な極地に適しているとは限らない為、寒冷地でのバルブは設計者にとって大きな挑戦です。工業バルブのスペシャリスト、**AS-Schneider**はバルブとマニフールドにおいて、摂氏マイナス55°Cまで、問題なく使用できる寒冷地仕様の製品を提供します。

寒冷地仕様バルブ (Arctic Operations Ventile) の設計において、**AS-Schneider**は厳しい寒冷地で動作に信頼のできる確かな素材だけを使用するよう注意いたしました。バルブボディの素材には、オーステナイト系ステンレスが低温下において非常に優れた能力を示すのに対し、真鍮などの素材は低音によって脆くなり、寒冷地に適していないことが分かります。特に、工業バルブには高圧に耐えうる性能が求められるからです。

**AS-Schneider**が特に注意を払ったのはスピンドルシールの構造です。スペシャリストは素材として**PTFE**を選択しました。それは通過する媒体に対し安定性を示すのみでなく、極限の低温に対しても適合できます。それによって寒冷地仕様バルブの高い遮断性を実現しています。

遮断性と同時に、機能性も重要な要素です。寒冷地であっても、工業用バルブは常に労せずしてベントの開閉が出来なければなりません。通常のバルブには潤滑油が使用されますが、潤滑油では粘度の問題から寒冷地での使用に適しておらず、バルブの氷結の要因となってしまいます。そのため、**AS-Schneider**は寒冷地仕様バルブに摩擦低減の乾燥被膜潤滑剤を使用し、マイナス55°Cまでのスムーズなバルブの開閉を可能にしました。

**AS Schneider**社は寒冷地向けに様々な種類のバルブを提供しております。ソリューションプロバイダーとしてドイツ、ノルトハイムを拠点にした同社は高い知識で顧客ごとに解決策を講じ、寒冷地用バルブは世界中多くの企業向けに実績がございます。

原文：2015年11月10日



**図 1: AS-Schneiderの寒冷地仕様バルブ(Arctic Operations Ventile)**

はマイナス55°Cまで問題なく使用が可能。



**図 2:** アラスカ、カナダ、ノルウェー、ロシア。このような極寒の地で使用する事を想定としたバルブです。



**図 3:** オイル、ガスの工業施設等、極めて低温の環境での使用に適した製品です。

**AS-Schneiderについて**

1875年にドイツで創設されたAS-Schneiderは今日では300名以上の従業員と共に、世界中で使われる工業用の制御計測バルブを製造しています。船舶や発電機にて使用される大規模なディーゼルエンジン用バルブの業界において、AS-Schneiderは世界を牽引する存在となりました。ルーマニア、シンガポール、ドバイ (U.A.E) そしてヒューストンの子会社、世界20カ国以上の地域に存在するパートナーを通して、私たちの製品をお求め下さるお客様のお力になります。

AS-Schneider 日本総代理店

株式会社東洋信号通信社

〒230-0054

横浜市鶴見区大黒ふ頭22番

横浜港流通センター8階

TEL: 045-414-2473

FAX: 045-510-4155

URL: <http://www.toyoshingo.co.jp/>

E-mail: sika@toyoshingo.co.jp